

第39回福島県特別支援教育センター 研究発表会 二次案内

「Well-beingの実現に向けた特別支援教育の充実」
～対話を通じた子どもの思いや願いに応える教育を目指して～

時下、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、本センターでは、関係諸機関の皆様の御理解と御協力により、開所以来39回目となる研究発表会を開催することとなりました。
つきましては、多くの皆様の御参加を賜りますよう、御案内を申し上げます。

1 趣旨

特別支援教育をめぐる最新の動向や学校等の先進的な取組を広く関係者に周知し、共有することで、インクルーシブ教育システムの構築を目指すとともに、「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進を図る。

2 日時 令和6年12月5日(木) 9時45分～16時00分

3 場所 福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」
(田村郡三春町深作10番2号 田村西部工業団地内)

4 主催 福島県特別支援教育センター

5 日程

9:15	10:00	10:55	11:50	12:30	13:20	14:00	16:00			
9:45	10:40	11:10	12:10	12:55	13:45	15:45				
受付	開 会 式	研究発表1 調査研究	長期研究員 発表	休 憩	研究発表2 教育研究	実践 報 告	昼食・休憩	移 動	教育講演	閉 会 式
					ポスター 発表①	ポスター 発表②	ポスター 発表③			

※ 内容の詳細は、別紙を御覧ください。

※ 研究発表1・2、長期研究員発表、実践報告、教育講演については、オンデマンド配信いたします。ただし、申し込みが必要ですので、申し込み方法を御覧ください。

<申し込み方法・その他>

1 申し込みにあたって

申し込みには、「来場参加申し込み」と、「オンデマンド申し込み」があります。

(1) 来場参加について

来場人数は150名程度で募集します。そのため、申し込み状況により来場していただけない場合もあります。その際は、オンデマンドでの視聴をお願いします。

[来場参加に係る募集の主な方針]

- ① 特別支援学校初任者研修、5年経験者研修対象者で、選択研修として受講が必要な方を優先します。(選択研修希望者は原則来場とします。)
- ② 参加人数が多い場合は、学校種等を考慮して調整します。

(2) オンデマンドについて

オンデマンドの申し込みについては、人数の制限はありません。希望される方は、個人ごとにお申し込みください。

2 申し込みについて

(1) 申し込み方法

希望される方は、Google フォームで本センターに直接お申し込みください。

<https://forms.gle/u548f1rC9LWYwGex5>

QRコード →



① 本センターWebサイト <<https://special-center.fcs.ed.jp>> から申し込みます。

② 申し込み締切日 **令和6年11月8日(金) 17:00必着**

③ 受理確認のメールを返信します。送信後3日経過しても返信がない場合は、下記お問い合わせ先まで御連絡ください。

(2) 来場参加の決定について

来場参加申し込みをされた方に、11月15日(金)を目安に、所属長宛に参加の可否についての通知をメールで送付します。11月20日(水)になっても送付がない場合は、下記お問い合わせ先まで御連絡ください。

(3) オンデマンドの配信について

12月18日(水)から26日(木)まで、オンデマンド配信しますので、その間に御視聴ください。12月13日(金)までに、URL等の情報をメールにて送付します。この期日に連絡がない場合には、下記お問い合わせ先まで御連絡ください。

3 会場へのアクセス

【お車でお越しの方】

磐越自動車道船引三春IC出口を左折し、国道288号線三春バイパスを進み、田村西部工業団地入口の信号を左折してください。(別紙「案内図」参照)

【鉄道でお越しの方】

JR磐越東線三春駅よりタクシーで約12分です。

4 その他

(1) 感染症感染拡大の状況により、オンデマンド配信のみの開催となる場合があります。その際は、本センターWebサイトにてお知らせします。

(2) 弁当の斡旋は行いません。昼食の準備は参加者各自でお願いします。

(3) 手話通訳等の合理的配慮の提供を希望する場合は、申し込みの際に備考欄に御記入の上、お知らせください。

【お問い合わせ先】 福島県特別支援教育センター 企画事業部 電話024-952-6497

〈第39回福島県特別支援教育センター研究発表会 発表内容の詳細〉

◆ 研究発表

① 研究発表1 調査研究（二年次）

「小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実に向けた研修の在り方」
～特別支援教育の資質・能力を育成するために必要な研修内容・研修体系の再考～

福島県特別支援教育センター 指導主事 泉 翔子

今年度は、昨年度の全県調査結果に基づき、研究協力校とともに特別支援教育に関する校内研修を実施してまいりました。小・中学校、高等学校における全ての教員の資質・能力を育むための効果的な研修内容、多忙な学校現場における研修のもち方、在り方について、検証した結果や今後の展望を発表します。

「特別支援教育について学びたいけれど、何を学ばよいかわからない」「いつ、どこで、どのように学ばよいか？」そのような現場の声にお応えします。

② 研究発表2 教育研究（二年次）

「特別支援学校高等部における自立と社会参加につなげる自立活動の指導の在り方」
～生徒が学習の意義を理解して、主体的に学ぶ姿を目指した実践研究～

福島県特別支援教育センター 指導主事 遠藤 孝太郎

本研究は、生徒自身が「目指す姿」や「なりたい自分」を考え、学ぶ意義を理解しながら主体的に取り組むことができる自立活動の指導を目指した研究です。

特別支援学校2校を研究協力校とし、生徒の思いや考えを反映させ、一人一人に応じた指導目標・指導内容を設定するための個別の指導計画の作成や修正・改善の在り方、生徒と「目指す姿」や「なりたい自分」を共有し、主体的に学ぶための指導方法について研究を進めてきました。「何のための学習なのか」「こんなことができるようになりたい」そのような生徒の思いを大切にしたい二年次の取組の成果と今後の展望について発表します。

◆ 長期研究員発表（二年次）

「特別支援教育の視点を取り入れた国語科の指導の在り方」
～「書き」につまずく要因の把握と効果的な指導と支援～

長期研究員 福岡 星弥（白河市立白河第四小学校 所属）

◆ 実践報告

○ 教育相談

「本人の歩みを支える保護者とのかかわりについて」
～共に伴走する存在であるために～

本人にも保護者にもそれぞれ捉えや思いがあり、それらは一致しないこともあります。教育相談の現場で向き合った事例から、保護者とかかわる上で大切にしていることをお伝えします。

◆ ポスター発表

- 調査研究 協力校の実践について
協力校：伊達市立保原小学校、伊達市立桃陵中学校、福島県立伊達高等学校
- 教育研究 協力校の実践について
協力校：福島県立聴覚支援学校、福島県立たむら支援学校
- 長期研究員発表（一年次）
「子ども一人一人が安心するかかわり・つながりのある姿を目指して」
～多面的・総合的な子ども理解と効果的なしかけの在り方～
長期研究員 阿部 真奈生（小野町立小野小学校 所属）
- 福島大学教職大学院院生研究報告

◆ 教育講演

テーマ

「一人一人の Well-being の実現に向けた特別支援教育の充実」
～対話を通じた子どもの思いや願いに応える教育を目指して～

講師：弘前大学大学院 教育学研究科 教職実践専攻 教授 **菊地 一文 氏**

共生社会の形成に向けて、今後求められる学校教育の方向性から、不易と流行を踏まえ、子ども一人一人を大切に作る特別支援教育の一層の充実が求められていることについてお話いただきます。

◇講師プロフィール

【経歴】

青森県立特別支援学校教員 国立特別支援教育総合研究所主任研究員
植草学園大学発達教育学部 准教授

【主な研究】

- 特別な教育的ニーズのある児童生徒へのキャリア発達支援と評価
- 知的障害教育における主体的・対話的で深い学び 等

【主な著書】

- 「知的障害教育における『学びをつなぐ』キャリアデザイン:本人の『思い』や『願い』を踏まえた『深い学び』の実現に向けて」ジヤース教育新社
- 「これからの特別支援教育はどうあるべきか」東洋館出版社
- 「確かな力が育つ知的障害教育『自立活動』Q&A」東洋館出版社 等

〈別紙〉案内図（福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」までの経路）

